

◆ 『姫街道400年祭』

(平成14年4月~11月)開催中。中山道沿線地域にて各種イベント実施。



4 2002

第8回美濃民芸陶器の里まつり ~ 高田焼産地 ~ (記事・4頁)



岐阜県 中小企業団体中央会
岐阜市藪田南5丁目14番53号
岐阜県県民ふれあい会館12階
毎月15日発行
購読料 年間1,500円(1部125円)
発行人 森本安彦
事務局直通電話
管理調整 058-277-1100(代)
広報振興 058-277-1101
組織指導 058-277-1102
調査労働 058-277-1103
情報企画 058-277-1104
事務局FAX番号 058-273-3930

主な記事

- 1 中小企業団体情報連絡員全体会議
- 2 県中小企業産業廃棄物対策連絡会議
- 3 関金属工業協会の50周年記念祝賀会、新酒鑑評会ほか
- 4 県組織改正
- 5 海外レポート(ベルリン)
- 6 二月の景況調査
- 7 支所だより
- 8 事務局だより
- 9



建設工事に係る再資源化等に関する法律(通称「建設リサイクル法」)が五月三十日から施行されることになった。

建設廃棄物は、産業廃棄物全体の排出量の約二割、最終処分量の約四割を占めている。

さらに、建築解体廃棄物については、昭和四十年以降に急増した建築物が更新期を迎えており、今後発生量が急増することが予想される。

また、最終処分場については、残存容量が逼迫しており、全国で三・一年、首都圏においては〇・七年分となっており、誠に厳しい状況である。

このため、この法律に基づき特定の建設資材について、その分別解体と再資源化を促進するための措置を講じ、解体工事業者について登録制度を実施することにより、再資源の十分な利用と廃棄物の減量を通じて、資源の有効な利用の確保と廃棄物の適正な処理を図り、生活環境の保全と国民経済の健全な発展に寄与することを目的としている。

対象となる建設工事(建築物に係る解体工事は

「分別」とリサイクル

を義務付け

5月30日 施行 建設リサイクル法

また、工事の発注者や元請業者等には、適正な分別解体と再資源化の実施を確保するため、発注者による工事の事業届出や元請業者から発注者への事後報告、現場における標識の掲示などが義務付けられた。

さらに、分別解体することによって生じたコンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材については、再資源化が義務付けられた。

また、工事の発注者や元請業者等には、適正な分別解体と再資源化の実施を確保するため、発注者による工事の事業届出や元請業者から発注者への事後報告、現場における標識の掲示などが義務付けられた。

現在、日本の廃棄物の発生量は年間四億六千万トンで、そのうち産業廃棄物の排出量は、四億一千五百万トンと、その九割を占めており、廃棄物の不法投棄も増加している。

この法律の施行を契機として、関係者が現状を十分認識し、資源の有効利用と廃棄物の適正処理を図り、生活環境の保全に取り組みなければならない。

◆『国際ネットワーク大学コンソーシアム共同授業』受講生募集。『生命科学と情報の最前線』5月16日(木)〜7月18日(木)まで(毎週木曜日)、全15講義。

『知識社会論2002』5月17日(金)〜7月12日(金)まで(毎週金曜日)、全15講義。

中央会は、中小企業団体情報連絡員全体会議を、三月十三日に県民ふれあい会館で開催した。

この会議は、中央会が主要業種八十五組合を対象とした毎月の「景況調査」を委嘱している情報連絡員が一堂に会し、各業界の現状報告や意見交換を行う場として毎年開催している。

厳しい経済情勢が続く中で、各組合から、見通しの立たない厳しい報告とともに、行政に対する意見や業界支援策への要望等が相次いだ。

倒産、廃業で組合員減少 組合存続に危機感も 情報連絡員38人が現況報告、意見交換

中小企業団体情報連絡員全体会議



業界活性化への取り組みも報告

厳しさを増す景況

東海財務局岐阜財務事務所
の牧野重広財務課長が、最近の東海管内の経済情勢について、「需要の弱さを背景に生産活動が引き続き低下し、倒産の増加、雇用環境もさらに悪化するなど、全般的に厳しさを増している」と報告。また、政府のデフレ経済対策などの説明も行われた。

中小企業は資金調達難に

商工組合中央金庫岐阜支店の中谷肇次長は、最近の金融相談状況について、「年末から年度末にかけて、資金調達に関する融資の相談が多く、特に目先の、短期の運転資金の要望が強い」と報告した。

また、業界の主な声は次のとおり。

果味噌醤油工業 = 食生活の変化、過当競争で売上が年々減少。廃業で組合員数も減少している。

果ツト(工組) = 中国製品の大量輸入のしわ寄せで市場にオーバーフローしている。秩序ある輸入を願いたい。

岐阜婦人子供服(工組) = 明るい材料としては、百貨店では、去年の秋頃から比較的高いものが売れ出している。

果集成材工業 = 住宅仕様の変化で和室が減り、造作材出荷量が年々減少。住宅

過剰の中でリホーム市場の開拓等の需要喚起が課題。

果家具(工組) = 産業廃棄物処理法の内容が厳しい。ダイオキシン問題で安易に焼却もできない。ダイオキシン検査費用が約七十万円必要で、売上が見込めないのに費用の捻出は困難。行政に受け皿等を要請しても明確な態度が示されない。中小メーカーの

存続が危ぶまれ、結局、行政側も税収不足に陥って苦勞することになるのではないかと、**丸重製紙** = 特殊紙は年明けから悪化し、製紙関係の機械修理業者も仕事がない状況。

果プラスチック(工組) = 中国から安価な日用雑貨製品が大量輸入され、苦慮している。品質の良さとデザインで需要に対応していく。

全国タイル(工組)岐阜県支部 = 公共建築等の圧縮、他建材との競合、輸入品の伸長、タイル使用量の減少等により、内外装床では厳しさが続く予想。

果ソックス(工組) = 昨年末から受注減。自動車関連の仕事は毎期ソフトダウンが要請され、収益がかなり圧迫されている。

川崎岐阜 = 都市銀行の選別

課題解決への支援策を

融資が酷である。日銀が資金枠を増やして公的資金を金融機関に出しておきながら中小企業の融資が非常に厳しい。関係機関に対して、中央会も大きな声を出していただきたい。

高山卸商業センター = 県の特別融資制度は高山市内の小さな金融機関では枠がなく、申し込んでも借りられず、運転資金調達に苦心している。

大垣市商店街(振運) = これからは特殊性のある店舗しか生き残れないのではないかと行政、商工会議所とタイアップして活性化に取り組んでいる。

高山旅館 = 観光客は日帰り客が増え、宿泊客が少ないインターネットでの誘客、修学旅行の受け入れを重要目標に取り組んでいる。

果飲食(生衛) = 雇用関係の助成制度を活用したが、末端の零細経営者にも利用できる制度にしていたきたい。

岐阜土木 = 公共事業が年度末に集中するのは、中小企業の受注確保が困難になる等の弊害がある。年間の受注工事時期の平準化をお願いしたい。

リサイクル製品の認知・販売ルートが課題 各業界から廃棄物対策報告

県中小企業産業廃棄物対策連絡会議

岐阜県中小企業産業廃棄物対策連絡会議(岡本太右衛門座長・岐阜県工業会会長)と中央会と合同会議(共催)を三月十九日にグランヴェール岐山で開催した。産業廃棄物のリサイクル等について、行政の取り組み及び推進体制、各業界企業・団体等の状況報告、課題提示を受け、岐阜県における資源循環型社会の実現に向けた方策等を探讨了。

会議には、県内七大地場産業(繊維、陶磁器、紙、機械金属、木工、プラスチック、食品)に建設、家畜を加えた九つの主要業界団体から研究員十五人、委員として岐阜県中央会の辻正会長(同会議副座長)、岐阜県陶磁器産業連盟の籠橋久衛会長、岐阜県食品産業協議会の安江政弘会長のほか、県担当課及び地



産業廃棄物対策連絡会議

球環境にききも出席した。辻会長は「日本の産業廃棄物対策は、皆様の日々の努力により、世界的に模範になるような道筋を進んでいると思う。この会議が今後、皆様方の日常の努力のプラスになれば」とあいさつした。

県民、事業者、 行政の協働で

県健康福祉環境部環境政策課リサイクル推進室の大西美恵子室長が、岐阜県の「循環型社会の推進体制」について説明。

大西室長は、個別のリサイクル法の概要等について触れながら、「岐阜県では、県環境基本条例に基づき、昨年五月に環境基本計画を策定し、各施策の推進は、県民・事業者・行政による協働体制で取り組んでいく」とし、県リサイクル認定製品の積極的な使用も含めて、県の今後の方針取り組み等を報告した。

また、地球環境にききふの二重谷伸行専務理事が、岐阜圏域における地球環境村基本施設整備構想(案)について、県内で発生する産業

廃棄物の種類や量などを示しながら、その処理の現状等を説明。「岐阜圏域において、県内で発生する各種廃棄物を可能な限り受

拡がる再資源化と新たな課題

取り組み状況の報告、意見交換では、各業界は厳しい経営環境の中で、廃棄物の排出抑制や再資源化、研究等に努力しており、産業廃棄物も減少しつつあるとの報告があった。

その一方で、海外製品の輸入増加により、繊維業界では「製品等に異素材が含まれているため処理が困難」といった新たな問題も起こっている。

また、陶磁器業界では「タイル廃材等を使用したリサイクル製品があるが、その使用量が少ない」、木工業界でも「木くずを薪や炭にして販売しているが、売れ行きは芳しくない状況」との報告があり、リサイクル製品の認知度向上、販売ルートの確立も課題と言える。

建設業界では、コンクリートやアスファルト等の土木系廃棄物はほとんど再利用されているが、建築系廃棄物は、建築物のミニ解体により発生する混廃の再資源化がほとんど難しい状

け入れ、再資源化、安全化・無害化するための廃棄物処理施設構想に対するご支援をいただきました」と理解を求めた。

況、「五月三十日からは、建設リサイクル法」が完全施行される。施工者だけでなく、発注者にも責任がかかることを認識してほしい」、「廃材について、再利用の技術研究にも取り組んでいるが、県内に大容量の埋め立て最終処分場がないため県外へ持ち出してあり、将来的に危機感がある」と報告があった。

家畜業界では、「BSE問題の影響で、死亡した牛の処分が苦慮しており、当方が処分費を負担して処理してもらっている。牛肉の安全性は保証できるし、牛乳にまで風評被害が出るのではないかと心配。行政には適切な対応をしていただきたい」と報告、要望した。

また、食品業界からは、包装資材は食品衛生上必要なものであるとし、「何もかも昔に帰ればいい」という環境原理主義に陥ることなく、必要なものは必要なものとして、その中で知恵を絞っていくことも重要なのでは」といった意見もあった。

国際ネットワーク大学コンソーシアム共同授業「受講生募集に関するお問い合わせ等は、国際ネットワーク大学コンソーシアム事務局。〇五八(二六八)一〇三〇、または、県庁国際ネットワーク大学構想推進室。〇五八(二七二)一一一一まで。

◆平成14年6月1日現在で、すべての卸売業・小売業の事業所を対象に『第22回商業統計調査』が行われます。
ご協力をお願いします。【経済産業省】

さらなる50年への飛躍誓う

関金属工業協(50周年記念祝賀会)

関金属工業協同組合(兼松誠吾理事長)は、組合創立50周年記念祝賀会を、三月二十三日に関市の関観光ホテルで開催し、組合員や来賓八十一名が出席した。

兼松理事長は、苦難を乗り越えてきた組合の歩みを回顧しながら、「新時代にふさわしい組合員のための組合、業界のための組合として、さらなる50年に向かって努力していきたい」と、新たな時代に向けての活躍を誓った。



関金属工業協(兼松理事長のあいさつ)

来賓には、辻正中央会会長、後藤昭夫関市長、県中濃地域農林商工事務所の交吉勝幸所長、商工組合中央金庫岐阜支店の吉田明史支店長ほかが出席。

辻正会長はあいさつで、「諸先輩方が築かれた50年という素晴らしい歴史のある組合として、今後岐阜県下の組合のリーダー役を担ってほしい」と組合の功績を称え、今後の一層の発展にエールを送った。

同組合は、昭和二十七年四月に家庭用刃物の生産を行う組合



新酒鑑評会での利き酒

員が集まり設立。十三年度には「岐阜県地域産業集積活性化計画支援事業」で新素材開発に取り組む。中国等に「真似のできな

今年の新酒は「華やか」で上々

県酒造組合連合会・新酒鑑評会

岐阜県酒造組合連合会(老田正夫会長)は、第9回新酒鑑評会を三月二十八日に岐阜市の長良川ホテルで開催した。

利き酒では、酒造業者や杜氏(とっじ)など約百人が出席し、県内の新酒八十八銘柄の香りやうまみを味わい、今年の出来栄を確かめた。

また、表彰授与式で老田会長は、厳しい時代でも、杜氏の方々が商品の内容を重視しながら、華やかな、いい酒を造ってくれた」と敬意を表し、「今後も、長年培ってきた酒造りの伝統を守り、地酒の振興を図っていきたい」と抱負を述べた。

表彰授与式では、新酒の入賞者表彰とともに、永年勤続者表彰も行われた。

【主な入賞者】(県知事賞) 吟醸酒の部「美濃錦」(渡邊酒造場)、純米醸造酒の部「女城主」(岩村醸造株)、本醸造

い製品開発」として、新素材の彫刻刀五点と爪切り三点を開発。製品は祝賀会場に展示され、出席者らの注目を集めていた。

造)、「勤続二十年」白井松夫(有)老田酒造店)、坪根邦一(有)蒲酒造場)

酒「天領(天領酒造株)(県

【永年勤続者】 勤続四十五年 野田政敏(川尻酒造場)、勤続二十五年 佐藤洋一(足立酒

美濃民芸陶器の里まつり実行委員会(高田陶磁器工業協同組合・加藤修一理事長)は、美濃民芸陶器の里まつりを四月七日に多治見市高田の共栄公園広

高田焼ブランド確立を目指す

高田陶磁器工業協

美濃民芸陶器の里まつり実行委員会(高田陶磁器工業協同組合・加藤修一理事長)は、美濃民芸陶器の里まつりを四月七日に多治見市高田の共栄公園広

場で開催した。高田徳利で知られる高田焼産地の活性化と地域振興を目的に開催され、今回で八回目を迎えた。

広場では、高田焼が値打ちに購入できる「窯元蔵出し市」や



美濃民芸陶器の里まつり

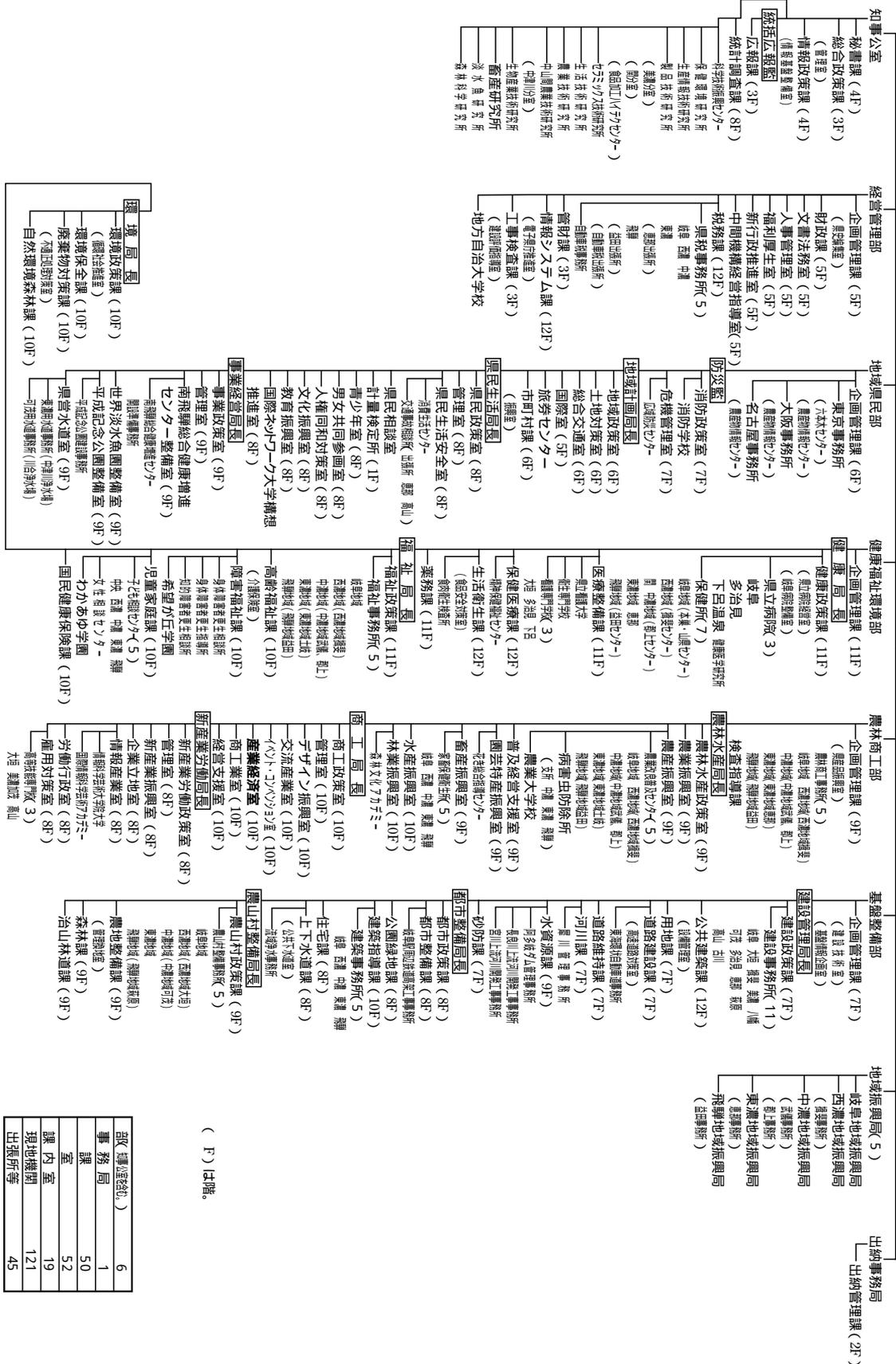
青年部作品の蔵出し市が催されたほか、ロクロ・手びねり体験では親子で楽しむ姿が見られ、大勢の家族連れで賑わった。

また、同組合は「やすらぎ工房」ブランドとして、「猫型湯たんぼ」や「アロマポット」、「蚊やり」といったユニークな製品を開発。新たな「高田焼ブランド」の確立にも積極的に取り組んでいる。

平成14年度岐阜県行政機構図 (平成14年4月1日)

知事 副知事

出納長



(F)は階

『過重労働による健康障害防止にご協力を』事業者の方は、時間外労働の削減、健康管理に係る措置の徹底など、過重労働の排除と健康管理対策の強化に努めてください。【岐阜労働局】

海外駐在員レポート

岐阜県の国際観光振興を思う ～世界最大の観光見本市にて～

岐阜県ベルリン駐在員 **横幕 哲也**



ベルリン国際見本市で岐阜県をPR

去る3月16日から20日にかけて、世界最大の観光メッセ「ベルリン国際観光見本市(ITBベルリン)」が開催された。181カ国から9,875の出展者(うち4分の3は外国からの出展)が参加し、5日間で12万人を超える入場者(うち3割が外国人)を飲み込んだこの見本市には、日本からも航空会社、旅行会社、鉄道会社、自治体など13の企業・団体が出展し、国際観光振興会(注1)がオーガナイズした日本ブースにスタンドを構え、我が国への誘客に努めた(注2)。当事務所でも、多少なりとも岐阜県の国際観光振興に役立てばと考え、愛知万博協会のスタンド(注3)にお願いし、県の観光パンフレットを来場者に配布していただいた。

岐阜県の観光を商品化 ～観光資源活用のために～

出展者の皆さんと話す機会を得たが、その中で嬉しく感じたのは、大手ツアーエージェンシーのスタンド責任者が「以前にフランスのツアーエージェンシーから依頼されて企画した長良川鶴飼・高山・白川郷を中心に回るツアーが、大変好評だった。岐阜県の観光資源が外国人にとっても魅力的であることは、間違いない」と語ってくれたことである。しかし一方で、残念ながらその優れた観光資源が十分に活かされているとは言い難い、というのが現状である。これは、1998年に岐阜県を訪れた外国人観光客数(5万2千人)が、訪日外国旅行者の1.3%に過ぎなかった(注4)ことからも窺える。

では、岐阜県の観光資源を活用するために行うべきことは何か。そのキーワードは「商品化」ではないだろうか。今回のITBベルリンを含めて、これまでドイツ国内外で県の観光をPRしてきた経験から実感するのは、パンフレットやグッズを配布するだけの従来型の手法では来場者を引き留めることはできない、ということである。彼ら外国人が求める旅行は、申込書にサインすれば手続は終わり、あとは集合場所に行くだけでいいというものだが、どこにもそのような「商品」がないからである。



日本ブースでの商談の様子

「岐阜県旅行商品」で 関心を惹く

もし、ドイツ人向けに「飛行機はフランクフルト・名古屋往復便。名古屋空港から通訳付きの専用バスで岐阜県の旅に出発。日本的な温泉旅館に泊まって郷土料理と日本酒に露天風呂を堪能。泊日の旅行で「ユーロ」というような「お値打ち商品」がコース別・日数別に用意されていれば、その場で商談をまとめることも可能であろう。旅行を疑似体験できる映像コンテンツがあれば、さらに「商品」の吸引力が強まるに違いない。

つまりは日本の国内バック旅行と同じコンセプトであるが、ドイツの旅行業者の店頭には、その類の外国旅行商品がずらりと並んでおり、旅行先から漏れているのは日本だけと言っても過言ではない程である。そこにこのような「岐阜県旅行商品」が加われば、ドイツ人の関心を惹くことは間違いないであろう。

生きた観光情報の提供 ～商品化に向けて～

では、どうすれば「商品化」できるのか。手取り早いのは、その道の「プロ」と手を組むこと、即ち大手ツアーエージェンシーとの共同開発であろう。彼らには、開発した「商品」を外国のツアーエージェンシーに売り込むネットワークもある。

そのためにはまず、通り一遍ではない岐阜県の生の観光情報を提供する必要がある。プレゼンテーション用の県内旅行を企画し、主だったツアーエージェンシーを招待するといったことも考えてよいのではないだろうか。

観光大県に向けて、中央会の支援も

昨年12月に観光政策審議会が「観光振興は国づくりの柱」と国土交通大臣に答申したように、他産業への経済波及効果が非常に大きい観光は、21世紀の基幹産業と位置づけられている。このようなトレンドの中で、岐阜県が他を凌ぐ「観光大県」となるためには、従来とは異なる発想で観光振興に取り組みなければならない。観光関連業種会を傘下に擁する中央会にも力を発揮していただきたい。今回は、そんな思いから、素人考えを開陳させていただいた次第である。

注1：日本の国際観光振興を図るために1964年に設立された特殊法人

注2：日本の国際観光の状況は、2000年の日本人海外旅行者数1,782万人に対し訪日外国人旅行者数476万人と、極端な「入超」状態にあふ(出典：国際観光振興会)

注3：財団法人2005年日本国際博覧会協会と中部国際空港(株)の共同運営スタンド

注4：出典：岐阜県観光レクリエーション動態調査、国際観光振興会

景況感、引続き停滞

一部業界で底打ち気配

2月景況調査

売上、受注、収益動向は、悪化が大きかった前月の反動で大きく改善したものの、好転の動きは見られない。依然として需要

中央会が主要業種八十五組合を対象にまとめた「二月の特色」と、五月までの景況の見通しは次のとおり。

〔二月の特色〕 組合から見た県内中小企業の特徴は、景況感停滞、先行き不安感が以前強い。低価格・需要低迷続くとなっている。

二月のD.I値はマイナス54ポイントで前月のマイナス58ポイントに対し4ポイントの改善。年度末の生産調整、公共工事施工の繁忙といったプラス要因の影響が弱く、小幅な改善となった。

低迷、低価格化、海外商品との競争が大きく加えて取引先の倒産等の影響も大きい。こうした中で、紙加工、鋳物、金型からは底打ち的な気配などへの期待感もある。

〔五月までの見通し〕 五月までの景況動向予想は、D.I値マイナス54ポイントで、当月実績と同数値で横這いとなっている。例年この時期は、プラスの季節要因により総合的に改善予想になるが、今回はそれが弱く、依然、低調な予想。

売上・収益動向予想も改善が期待できず、厳しい状況が続くと予想される。

県内中小企業主要業種の景気動向 (2月末調査)

表の見方：売上～景況感： 好転・増加 変わらず 悪化・減少

調査項目	売上	受注	収益状況	設備	景況感	見通し
味噌・醤油・肉(国産)						
油(子)						
米(酒)						
ね(糸)						
織物(染色)						
ニット(工業)						
毛織物(繊維)						
合成繊維(雑)						
メンズ(子供)						
縫製(紙)						
銘集(美濃)						
家具(飛騨)						
家具(濃)						
家庭用(紙)						
特殊(紙)						
印刷(刷)						
プラスチック						

調査項目	売上	受注	収益状況	設備	景況感	見通し
陶磁器(工業)						
陶磁器(輸出)						
窯業(原料)						
耐火レンガ						
石灰(生)						
砂利(生産)						
砕石(生産)						
铸件(金属製品)						
刃物等(輸出)						
刃物等(内需)						
メッキ						
県金属工業団地						
可児工業団地						
金型						
機械工具・工作機械						
電気機械器具						
輸送機器						
各種物産品(観光)						
各種物産品(ギフト)						
陶磁器						
総合卸売業						
青果						
水産物						
家電機器販売						
メガネ販売						
中古自動車販売						
石油製品販売						

調査項目	売上	受注	収益状況	設備	景況感	見通し
共生						
同店舗						
花販						
岐阜市商店街						
大垣市商店街						
多治見市商店街						
恵那市商店街						
高山市商店街						
車体整備						
タイヤ整備						
長良川畔旅館						
下呂温泉旅館						
高山旅館						
クリーニング						
広告美術						
情報サービス						
映像制作						
飲食						
土木(岐阜)						
土木(飛騨)						
土木・建築(羽島)						
建築(各務原)						
鋼構造物						
電気工事						
管設備工事						
建築板金						
産直住宅(付知地区)						
貨物運送(岐阜地区)						
貨物運送(県域)						

4月は「シートベルト・チャイルドシート着用強化月間」です。

◆決算関係書類、役員変更届書等の所管行政庁への提出をお忘れなく。

東濃 支所だより

TEL/FAX 〇五七二・一五・〇八六五
E mail: chuokai@quartz.on.ne.jp
多治市東町一・九・三(美濃焼センター)
三利勝支所長 後藤 諭 板津朱里

行く人、来る人

東濃支所に二十四年間務め、業界の皆様方に大変お世話になった渡辺瑞枝は、この三月末をもって定年を迎え、退職いたしましたことをご報告いたします。

経済の厳しい折り、多くの事業所が廃業されたり、リストラの名のもとに従業員の解雇等により職を失う人も多い昨今では、恵まれた退職でありました。長年にわたり、「ご愛顧いただいた賜物と感謝申し上げます。」

また、その後任として四月一日より、板津朱里(いたづあかり)が新たに加わりました。可



東濃支所スタッフ・板津朱里です。

児市に在住する新人職員ですが、学生生活では音楽(ピアノ)が得意(志)しました。

飛騨 支所だより



TEL/FAX 〇五七三・三四・四〇〇〇
E mail: chuokai@quartz.on.ne.jp
高山市天満町五・一・二(高山米穀駅ビル内)
松野信一 支所長 武田亨・安田真也

流葉の百年委員会

吉城郡神岡町の流葉地区で民宿など観光業を営む『流葉観光開発協同組合』(霜出孝司理事長)は、流葉地区に活気を取り戻そうと、組合に「百年委員会」を設置した。

流葉地区は、スキー場やキャンプ場、温泉など、天然の観光資源や自然体験施設がそろった神岡町の観光地域である。

しかし、近年は観光客の人数が減少傾向であり、町議会においても「流葉開発事業緊急対策特別委員会」を設置し、この流

目下、懸命に、ひたすら仕事を覚えようとしています。やがては、皆様のお役に立つことと思えます。

最初は、少々迷惑をお掛けいたしますが、長い目でご指導いただき、前任者と変わらぬごひいきを下さるようお願いいたします。

吉城郡神岡町

葉の活性化が町の課題にもなっている。この百年委員会は、観光客の誘致活動や新しい観光の可能性に積極的に取り組むとともに、流葉の自然を生かし、百年を見据えた観光の方向性を見直したいとしている。

そこでまず、富山県など県外三カ所の大型スポーツ店で、観光客を誘致するキャンペーンに初めて取り組んだほか、昨冬には隣の古川町数河地区の観光協会とフナ林が美しい流葉山を歩

き、ネイチャースキーの可能性を共に考えた。組合としては、流葉地区住民の「夢と思い」をまとめ、これ

土岐美濃焼まつり実行委員会(協同組合土岐美濃焼卸センター)・白石仲七理事(主催)の第26回土岐美濃焼まつりが、五月三日から三日間、土岐市泉北山町の土岐美濃焼卸商業団地で開催されます。

日本三大陶器まつりの一つであるこのまつりは、四〇〇年の伝統と、日本一の生産を誇る地場産業

である美濃焼を多くの方々に紹介宣伝し、美濃焼業界の活性化と振興発展に寄与することを目的としています。

美濃焼を市価の三・五割引きで販売する「陶器大販売市」や「陶器蔵出し市」、「美濃焼オークション」、「ロクロ体験コーナー」(体験は無料、焼成は有料)、「陶芸材料販売コーナー」のほか、「アマ細工実演販売」、「ワイワイキリン広場」など各種イベントが催されます。

開催時間は、各日とも午前九時

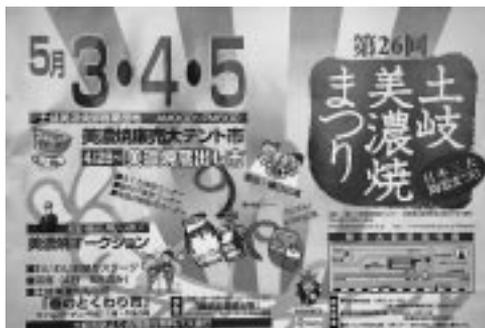
ゴールデンウィーク 『春の土岐美濃焼まつり』

開催

から午後五時(雨天決行)です。なお、JR土岐駅裏ロータリーから無料送迎バスが運行されます。ゴールデンウィークには、ぜひ出かけてみてください。

お問合せ 同組合・〇五七二(五五)二三三三まで、また、組合ホームページ内「イベント情報」でも紹介しています。

URL: <http://www.chuokai.gifu.or.jp/minoyaki/>



『土岐美濃焼まつり』PRポスター



中央会ホームページ
URL <http://www.chukokai.gifu.or.jp/>
Eメール
info@chukokai.gifu.or.jp

中央会 5月27日(月)に開催予定 今回は役員改選期

中央会の『第47回通常総会』を5月27日、午後一時三十分から三時三十分の予定で、大垣市のソフトピアジャパン一階「セミナーホール」にて開催致します。今回の総会は役員改選

期にあたります。会員各位におかれましてはご多忙の折、恐縮ですが、日程等を調整していただき、是非ともご出席下さいますようお願い致します。

経営支援課から産業経済室へ

県の組織改正と人事異動

中央会の所管課である岐阜県農林商工部商工局の経営支援課が、県の組織変更により新年度から農林商工部商工局「産業経済室 団体支援グループ」に変わりましたので、室長以下の担当者及び異動のご紹介をします。

【産業経済室 団体支援グループ】

高橋一吉室長(知事公室総合政策課管理監より) 伊藤修課長補佐兼団体支援グループリーダー(岐阜地域農林商工事務所課長補佐兼産産業労働課産産業労働係長より) 大橋富夫主査

(農林商工部経営支援課主査) 板津浩司主任(東京事務所主任) 経済産業省派遣より) 山本裕美主任(農林商工部経営支援課主事) 垣本文一主事(農林商工部商工政策課より)

【前任(経営支援課)】

高木巧課長(知事公室参事) 伊藤弘報センター派遣へ) 柴田英文課長補佐兼組合指導係長(農林商工部管理室課長補佐) 新産産業労働へ) 吉田千明主査(農林商工部労働行政室主査)

国省「中小企業貿易商談会」ご案内 日中企業の協力促進を図る

中国江西省では、日中国交回復30周年を記念して、「中小企業 対外経済貿易商談会」の開催を予定しています。

江西省の豊富な資源やプロジェクト開発のメリットを展示し、投資優遇政策を紹介し、江西省と日本の中小企業の経済貿易分野における情報交流を強め

双方の協力を促すことを目的としています。

県内組合・企業等の参加を募集します。(特に、漢方薬、健康食品関連業種)

【開催日】平成十四年七月下旬(予定)

【開催地】中国江西省 詳細は、決まり次第ご紹介します。

三月中

4～5日 第11回ア・ミューズ岐阜(グランパレホテル)

5日 岐阜県地方最低賃金審議会運営小委員会(岐阜合同庁舎)

7日 第3回岐阜県新首都交通計画研究会(岐阜グランドホテル)

8日 連合岐阜・来会中央会情報サロン)

11日 日本標準産業分類の改訂に関する説明会(中部経済産業局)

13日 平成十三年度中小企業団体情報連絡員全体会議(県民ふれあい会館)

14日 第6回エンタープライ

ズ岐阜・ワンストップサービス研修会(県民ふれあい会館)

第3回岐阜県地方労働審議会(グランヴェール岐山)

15日 公正採用選考にかかる人権啓発研修会(ソフトピア)

18日 中小企業組合関係税制等研修会(セラトピア土岐)

19日 岐阜県中小企業産産業廃棄物対策連絡会議(グランヴェール岐山)

20日 第2回特定中小企業集積活性化計画検討委員会(濃総合庁舎)

22日 外国人研修生・実習生失踪防止対策検討会議(県庁大会議室)

23日 関金属工業 創立50周年記念祝賀会(開光ホテル)

26日 県情報産業協会役員会(第2回通常総会・研修会)

28日 第9回新酒鑑評会(長良川ホテル)

【お問合せ】岐阜県中央会・組織指導チーム 〇五八(二七七)一一〇二まで

中央会事務局 人事異動

中央会は、東濃支所の渡辺瑞枝スタッフが三月三十一日付けで定年退職したのを受け、四月一日付けで次の者を採用した。
板津朱里(東濃支所スタッフ)

研修会(飛騨総合庁舎)

20日 第2回特定中小企業集積活性化計画検討委員会(濃総合庁舎)

22日 外国人研修生・実習生失踪防止対策検討会議(県庁大会議室)

中小企業組合関係税制等研修会(県民ふれあい会館)

23日 関金属工業 創立50周年記念祝賀会(開光ホテル)

26日 県情報産業協会役員会(第2回通常総会・研修会)

28日 第9回新酒鑑評会(長良川ホテル)

◆『労災隠しは犯罪です』

労災事故があつた場合、所管の労働基準監督署に「労働者死傷病報告」の提出が必要です。【厚生労働省】